

ヘルスケアビジネス実例セミナー

生涯現役社会の実現に向けたヘルスケアビジネスは、全国に拡がるのが期待されており、本県においても、ヘルスケアビジネスの創出に向けた取組が行われています。

本セミナーは、島根県ヘルスケア産業推進協議会のオープンな分科会として実施し、ヘルスケアビジネスの施策や事例紹介を通して、新事業の創出や既存事業の発展を目指しています。

日時:令和元年11月9日(土) 14:00~17:30 (13:30開場)

場所:大田集合庁舎 2階 第1会議室(大田市大田町大田イ1-3)

どなたでも
ご参加できます。
参加費無料

内 容

○14:05~14:20 『島根県のヘルスケアビジネス創出の取組』

島根県商工労働部産業振興課 産学官連携グループ グループリーダー 和田 守弘

○14:25~14:40 『ヘルスケア産業の創出に向けて』

中国経済産業局 地域経済部 地域経済課(情報・ヘルスケア産業担当) 課長補佐 佃 朋之 氏

○14:45~15:05 『ヘルスケアビジネスの動向』

岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 准教授 志水 武史 氏

○15:15~16:15 『新たなヘルスツーリズムの方向性 - 現地プログラムの作り方 -』

2018年よりヘルスツーリズム認証委員会によるヘルスツーリズムのプログラム認証が始まり、旅行会社による商品化など市場が動き出した感がある。企業では働き方改革や健康経営などの取り組みの一環として、従業員の健康づくりにヘルスツーリズムが利用されようとしている。しかし、ヘルスツーリズムに注目が集まる一方、プログラム内容や受入体制、流通にはまだまだ課題が多い。今回は、それらの解決のための新しいヘルスツーリズムについて解説する。

○ NPO法人 熊野で健康ラボ 代表理事 木下 藤寿 氏

福岡大学大学院体育学研究科健康運動学修士課程修了。福岡大学体育学部助手、福岡大学医学部微生物学研究室修了、(財)和歌山健康センター、熊野健康村・熊野で健康ラボ所長を経て、2011年NPO法人熊野で健康ラボ代表理事及び2014年に株式会社ウェルネスツーリズム研究所代表取締役役に就任し現在に至る。専門は運動生理学、運動療法、健康管理、スポーツ医科学、気候療法、地形療法士(ミュンヘン大学)、健康運動指導士。

○16:20~17:20 『ヘルスケアビジネスの可能性を求めて』

2020東京オリンピックの開催決定以来、各地でスポーツに関心を持つ方が急増していることを実感します。その一方、社会は高齢化が進み“健康寿命の延伸”や“生活の質の向上”が課題となっています。医療者が行うヘルスケアは、健康管理や疾病予防を得意とするためビジネス化の可能性を秘めていると言えます。医療法人が行うヘルスケアビジネスの取り組みとして、“自立支援を目指した生活リハビリテーション”をテーマとした『心・技・体』事業を中心にご紹介いたします。

○ 医療法人あすか 理事長 井上 貴雄 氏 (整形外科医)

1962年山口県下関市生まれ
1986年東海大学医学部を卒業し医師免許、1993年博士号取得
1999年島根県益田市で整形外科医院を開業、2009年高齢者施設を開設
2019年ヘルスケアビジネス『心・技・体』事業を開始

○17:45~19:45 ヘルスケア事例紹介企業等との情報交換会(会費制:4,000円)

喫茶・レストラン「ピオニ」 大田市大田町大田イ236-4 島根県立男女共同参画センターあすてらす1F